

# 町営バスデマンド方式実証実験運行の結果

## 利用しやすい交通手段をめざして！ vol 5

町営バスの新たな運行方法を検討するため『デマンド方式』による実証実験をおこないました。この実験は、事前に乗車するかたを把握することで効率的な運行と自宅付近での乗降や市街地の乗降場所を追加するなどサービスの向上につながるよう実施したもので、今回はその結果についてお知らせします。対象地域の皆さまには、今回の主旨にご理解とご協力をいただき無事終了できましたことにお礼を申し上げます。

### ◆実証実験の内容

- 実施路線 北原線をモデル路線として運行
- 実施期間 6月3日から7月31日までの43日間
- 運行方式 第1便はこれまでと同じダイヤに従って各停留所を経由し、第2便・下校便・第3便をデマンド方式で運行



### ◆実証実験の結果

#### ○6月～7月の運行状況の比較

区分		第1便	第2便	下校便	第3便	計	合計	比較
乗車人数	H25実験	258人	38人	220人	8人	266人	524人	△59人
	H24通常	283人	43人	227人	30人	300人	583人	
運行便数	H25実験	43便	27便	37便	7便	71便	114便	△51便
	H24通常	43便	43便	36便	43便	122便	165便	
走行距離	H25実験	1,012km	320km	737km	67km	1,124km	2,136km	△1,537km
	H24通常	1,012km	1,012km	637km	1,012km	2,661km	3,673km	

- ① **乗車人数**；利用者のかたは主に第1便に乗車して市街地に向い、第2便以降で地域に戻っていることが、第1便乗車数258人≒第2便以降乗車数266人から読みとることが出来ます。主に第1便の乗車人数の減少(△25人)が全体の減少数を押し上げています。
- ② **運行便数**；予約者がいる便のみ運行するデマンド方式により、第2便で16便、第3便で36便が運行中止となり、空車便対策が図られました。
- ③ **走行距離**；運行便数が51便減少したこと、予約者の自宅付近での乗降により最短距離で結ぶ運行が可能となり、走行距離が△1,537kmと大幅に減少しました。

### ◆利用者の声

- ・自宅付近で乗降できるので大変便利です。
- ・家族は仕事をしているので、バスがないと困ります。
- ・停留所まで歩くのは大変です。下校便も自宅前で降車できて便利です。
- ・ホクレンショップ前で乗降できると良いですね。
- ・午前10時頃の便があると用事を済ませてお昼の便で帰れるのですが。

今回の実証実験の課題を検証し、さらに冬季の問題点を検証するため、北原線をモデルとして11月1日から12月31日まで実証実験運行をおこします。